

令和2年度 経営発達支援計画実施評価表

柳津町商工会

区分	項目	事業の目標	評価
I. 経営発達支援事業の内容	1. 地域の経済動向調査に関すること	小規模事業者を意識した地域の経済情報を中心に、業種の動向などについても、定期的に、かつ、総合的に情報提供する。	A
	2. 経営状況の分析に関すること	小規模事業者に対して、経営課題への意識付けの段階から、定量・定性の両面からの経営状況の診断、強みと機会の発見、経営課題の明確化までを一貫して分析する。	A
	3. 事業計画策定支援に関すること	経営状況の分析から、一步進めて、事業計画(事業承継計画も含む)の策定への動機付けをるところから、具体的な事業計画策定・ブラッシュアップまでを一貫して支援する。 地域として創業(第二創業含む)支援体制を構築し、当商工会がその中心として、岐阜商工会議所の創業支援体制とともに、事業計画策定を一貫して支援する。	C
	4. 事業計画策定後の実施支援に関すること	事業計画策定後、その計画が確実に実施されるよう、策定後の伴走支援を一貫して実施する。	D
	5. 需要動向調査に関すること	事業計画策定後を中心に、個々の事業者の事業に関わる市場情報の提供を、主体的に実施し、その情報提供を踏まえて、事業者の環境変化への対応を一貫して支援する。	B
	6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	個々の事業者の事業について、商品・サービスの魅力付け、情報発信・PR、販売ルート開拓、利益確保の実現まで、全面的に支援する。	D

区 分	項 目	事 業 の 目 標	評 価
Ⅱ．地域経済の活性化に寄与する取組	7．地域経済の活性化に寄与する取組	<p>柳津町では、各種の地域経済活性化のイベントが開催されており、商工会も事務局機能を担当しているものもあり、主催で地域の経済活性化に寄与できるように活動している。</p> <p>しかしながら、多くの人が集まるこれらの場を、単にイベント出展というだけで、取引先開拓として地域内事業者を紹介したり、新商品・サービスのテストマーケティングの場として活用したりといった取り組みまでは実施しておらず、効果的な事業支援の場となり得ていないのが現状である。</p> <p>今後は、様々な商品・サービスが集まるイベントを有効活用して、地域の他の事業者とのつながりをつくったり、商品・サービスのPR、テストマーケティングなどの場として活用できるようにしていく。</p>	D
Ⅲ．経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援能力向上のための取組	8．他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	<p>柳津町内の事業者の支援を行う際、待たせることなく対応できるように、当商工会を中心に様々な課題対応の支援体制を構築していく。</p> <p>その結果として、商工会との接点で、様々な課題の解決の糸口が見えることで、より経営支援に対して真摯に向き合い、具体的な解決策を提示できる商工会のイメージを形成することに繋がる。</p>	B

区 分	項 目	事 業 の 目 標	評 価
	9. 経営指導員等の 資質向上等に関する こと	<p>全国商工会連合会・岐阜県商工会連合会が主催する研修に加え、中小企業大学の主催する研修に経営指導員が参加することで、売上げや利益を確保することを重視した支援能力の向上を図ることはもちろん、岐阜県商工会連合会および岐阜・西濃ブロック広域支援室と協力した育成施策とともに、柳津町商工会の業務内において事例検討会やOJTを通じた情報共有をはかり支援能力の向上をはかる。</p> <p>共有した情報は、組織のノウハウ資産としてカルテ・データベースとして、ストックし、いつでも見直したり、活用したりできる体制を構築する。</p>	A
	10. 事業の評価及び 見直しに関するこ と	<p>毎年度、本計画に記載の事業の実施状況及び成果について、以下の方法により評価・検証・公表を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果・評価・見直しの結果は総会に報告するとともに、商工会のホームページに掲載すると共に、商工会玄関にも掲示し、小規模事業者等の閲覧と質問に供する。 ・事業の実施にあたっては、常に、経営指導員等でPDCAサイクルを意識し、評価・見直しにあたっては、各施策実施の際のアンケート調査とともに、「柳津町経営状況把握調査」を行う。 	A

評価基準

- A：目標を達成することができた（100%以上）
- B：目標を概ね達成することができた（80～99%）
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～79%）
- D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）